

「原文」	方無古今内外一理泥古不可以通于今 略内不可以治於外蘭医密於理而羸于法 漢学精于法而拘於跡
「読み下し文」	方に古今無く内外一理。古に泥む、 以て今に通ずる可からず。 内を略す、以て外を治す可からず。 蘭医は理に密にして法に羸なり。 漢学は法に精にして跡に拘わる。 ※羸^そは「うとい」「くはしくない」 「ざつ」「そまつ」大漢和辞典より
「現代語訳」	治療法に古今は無く内外は一理である。昔の 方法に拘つても、今に通じることはいできない。 内をおろそかにしては、外を治すことはできな い。オランダの医学は理論に詳しく法に疎略 である。漢方医学は法に詳しくその経験に拘 わっている。